

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報/Syllabus Information

授業情報/Course Information

授業コード/Course Code	2945700000	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス
授業開講年度/Course Year	2013年度		
管理部 署/Administrative Department	総合政策学部		
科目名称/Subject Title	メディア文化政策		
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期
担当者/Instructor	畑 祥雄 (HATA YOSHIO) , 江夏 正晃 (ENATSU MASAOKI) , 澤田 知子 (SAWADA TOMOKO) , ダミー 教員, 椿 昇 (TSUBAKI NOBORU) , 徳山 喜雄 (TOKUYAMA YOSHIO) , 中島 厚秀 (NAKAJIMA ATSUSHI) , 細井 浩一 (HOSOI KOICHI)		
履修基準年度 Standard Year of Registration	2年		
授業目的/Course Objectives	総合政策における文化政策とは何かを考える講義である。 例えば、都市再生計画における美術館の役割、日々急速に展開する情報通信政策における新しいネット放送局の映像アーカイブのあり方、環境破壊をシリアスなドキュメンタリーで知らせる番組、地域コミュニティの意識調査に映像制作を使う新しいアンケート調査方法、現代美術を中心に国際美術展が各国の文化アイデンティの確立と交流に使われる新しい外交法、グローバルとローカル社会の急速な往還関係をデジタル技術と固有文化をキーワードに読み解く、90年代以降のネット時代の「メディアと文化」を初めて本格的に研究しながら講義を進めていく 講師陣には国内外の第一線で活躍する新聞・出版・音楽・芸術・放送等のキーパーソンを招く、		
到達目 標/Attainment Objectives	総合政策における文化政策とは何かを考える講義である。 例えば、都市再生計画における美術館の役割、日々急速に展開する情報通信政策における新しいネット放送局の映像アーカイブのあり方、環境破壊をシリアスなドキュメンタリーで知らせる番組、地域コミュニティの意識調査に映像制作を使う新しいアンケート調査方法、現代美術を中心に国際美術展が各国の文化アイデンティの確立と交流に使われる新しい外交法、グローバルとローカル社会の急速な往還関係をデジタル技術と固有文化をキーワードに読み解く、90年代以降のネット時代の「メディアと文化」を初めて本格的に研究しながら講義を進めていく 講師陣には国内外の第一線で活躍する新聞・出版・音楽・芸術・放送等のキーパーソンを招く、		
授業時間外の学習 (準備学習等につ いて) Study Required	1年～2年次の、アート＆テクノロジーを先行履修することが望ましい。		

Outside of Class (Preparation etc.)	
授業計画 Class Overall Plan	<p>(01) 3 1 1 以後の日本の姿を想像から創造する「メディア文化政策」の重要性について。 畑 祥雄 (関西学院大学 総合政策学部 教授) (02) 「サウンドは国境を越えて文化と世代を融合させ世界をつなぐ」 江夏 正晃 (サウンドアーティスト、マリモレコー ド代表)</p> <p>(03) 「デザインは単に絵を描く仕事ではない、考えを形にすることである」 奥村 昭夫 (デザイナー・京都大学 客員教授)</p> <p>(04) 「近代デザインから新聞・テレビ・インターネットによるメディア展開史」 中島 厚秀 (メディアプロデューサー・元幻冬 舎出版)</p> <p>(05) 「電子図鑑時代のトータルデザイン、何から修得すべきか…」 西埜 寿 (クリエイティブデ ザイナー)</p> <p>(06) 「日本人アーティストが、神戸から世界を拠点に活躍するまで」 澤田 知子 (アーティスト・成安造形大学 特任教授)</p> <p>(07) 「メディア文化政策の実践例からの次世代課題とスピーチ」 畑 祥雄 (関西学院大学 総合政策学 部 教授)</p> <p>(08) 「メディア文化政策のファイルアーカイブの中間合評会」 畑 祥雄 (関西学院大学 総合政策学 部 教授)</p> <p>(09) 「テレビ黎明期と民放の役割と広告が創る流行と大衆パワーの功罪」 沼田 篤良 (ディスカバリーチャンネル 前会長)</p> <p>(10) 「新聞の役割の変容とジャーナリズムの未来を解く」 徳山 喜雄 (朝日新聞記者・元海 外特派員)</p> <p>(11) 「時代と共に変貌する生活文化を空間構成する建築家の仕事」 遠藤 秀平 (神戸大学 大学院 工学研究科 教授)</p> <p>(12) 「世界と各地域の動態変化を嗅ぎ取る現代美術の力」 椿 昇 (現代美術家、京都造形芸術大学 教 授)</p> <p>(13) 「ソーシャルビジネスと文化政策の融合の問題点と課題解決」 畑 祥雄 (関西学院大学 総合政策学 部 教授)</p> <p>(14) 「総合大学で映像を教える先駆的な学部創設のビジョンとその成果」 細井 浩一 (立命館大学 映像学部 教 授)</p> <p>(15) 「政策立案力とトータルプロデュース力の総合化をめざして」 畑 祥雄 (関西学院大学 総合政策学部 教授)</p>
教科書 Textbook(s)	講義ごとにコピー資料あり。
参考文献 References Books	その都度指定する。
授業方法 Method of Instruction	情報文化産業の新たなシーンを創るキーパーソンたちによるリレー式講義です。
学生による授業評価 の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
成績評価	備考 Note

Evaluation Criteria/Method	定期試験に代わるレポート(Term paper to replace the final examination) 出席点、レポート点、コメント点、ファイル点による総合評価。
備考 Note	
検索キーワード/Keywords	総合政策の視覚化、
更新日時/Date of Update	2013年08月11日 20時19分52秒

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2013年度	秋学期	金曜 4 時限	秋学期	I I - 1 0 2

戻る/Back